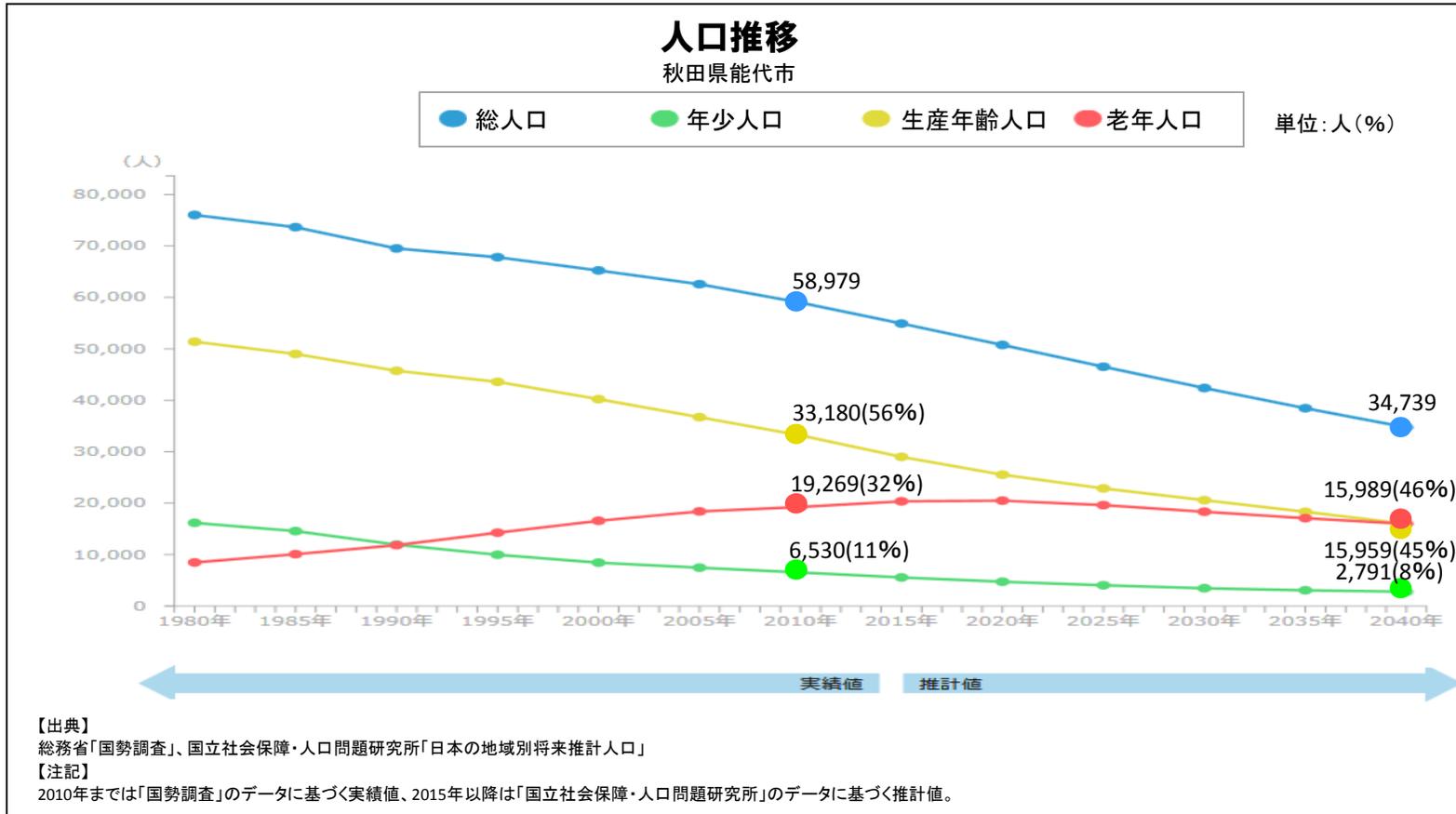


能代市の現状と推計

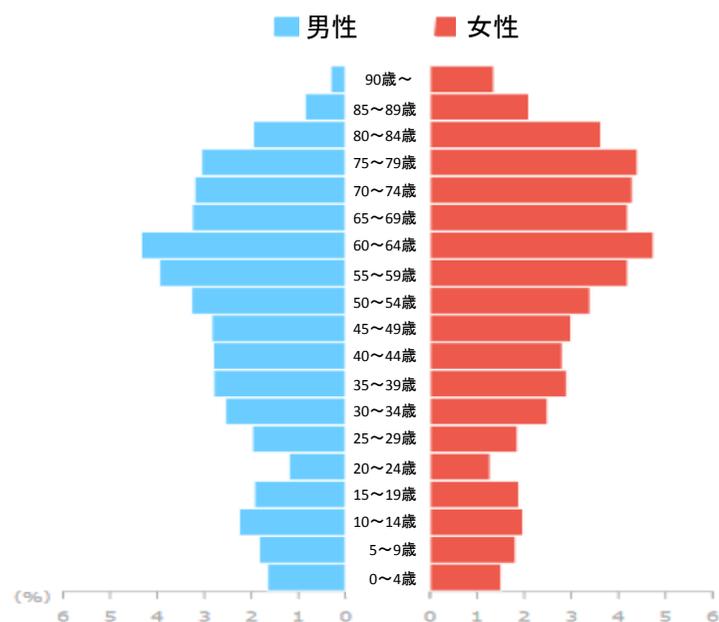
(資料1)



能代市の人口は年々減少しており、今後その減少の速度は増すものと考えられています。現在増加している65歳以上の老年人口も2020年頃を目途に減少に転換していきませんが、15～64歳の生産年齢人口の減少速度がそれより大きいため、2040年頃にはその数がほぼ同じ程度となる見込みです。14歳以下の年少人口は、現在の半数程度まで減少すると見込まれています。

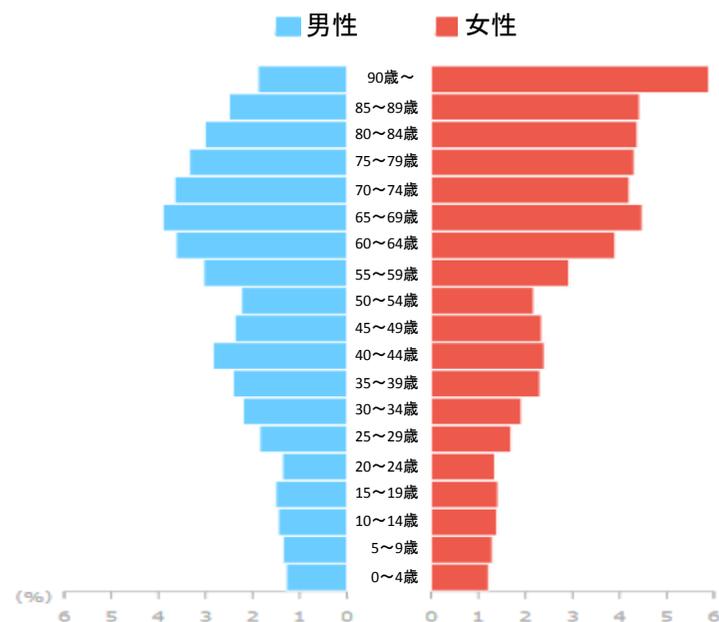
人口ピラミッド 秋田県能代市

2010年



老年人口(65歳以上) : 19,269人(32%)
生産年齢人口(15歳～64歳) : 33,180人(56%)
年少人口(0歳～14歳) : 6,530人(11%)

2040年

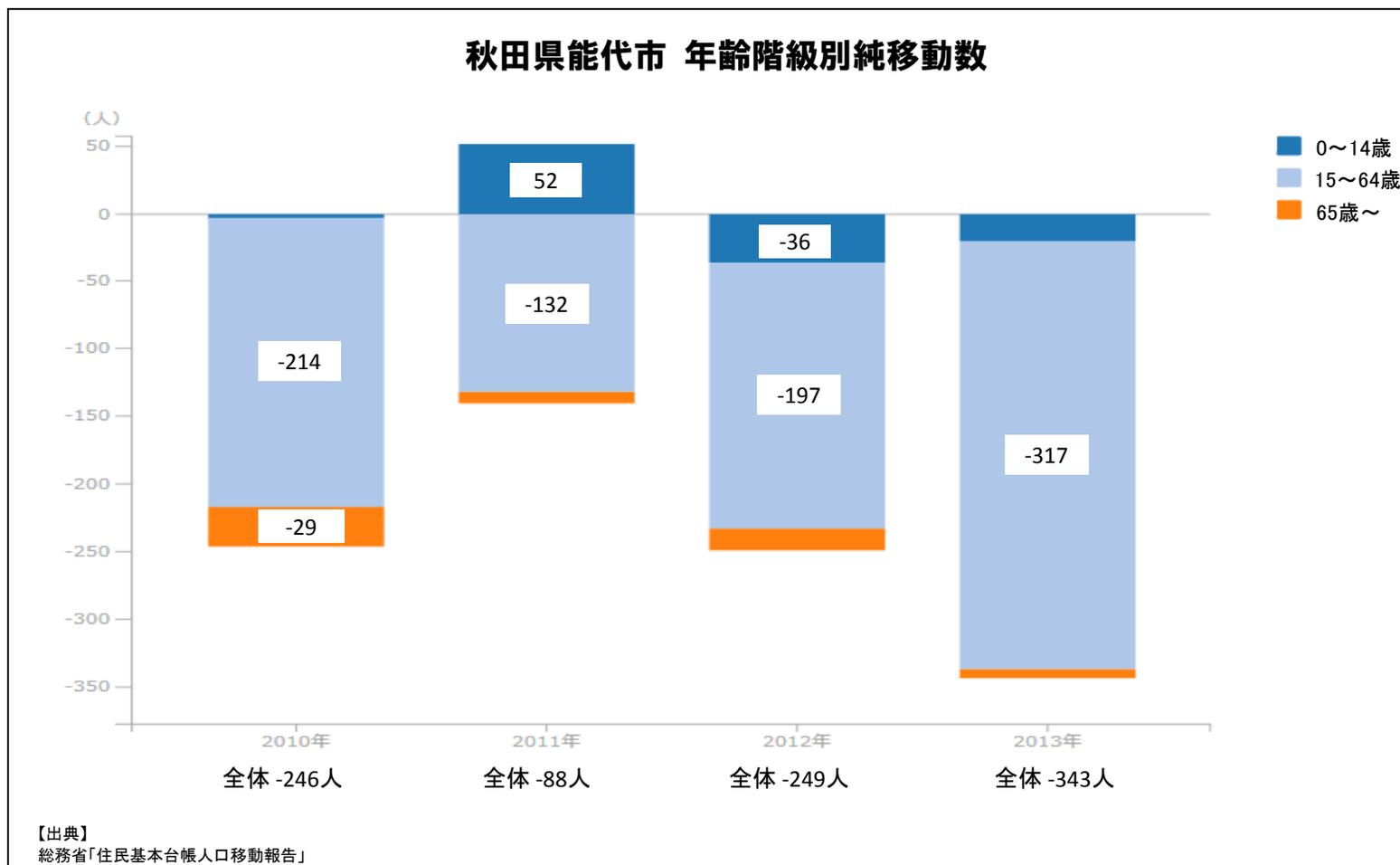


老年人口(65歳以上) : 15,989人(46%)
生産年齢人口(15歳～64歳) : 15,959人(45%)
年少人口(0歳～14歳) : 2,791人(8%)

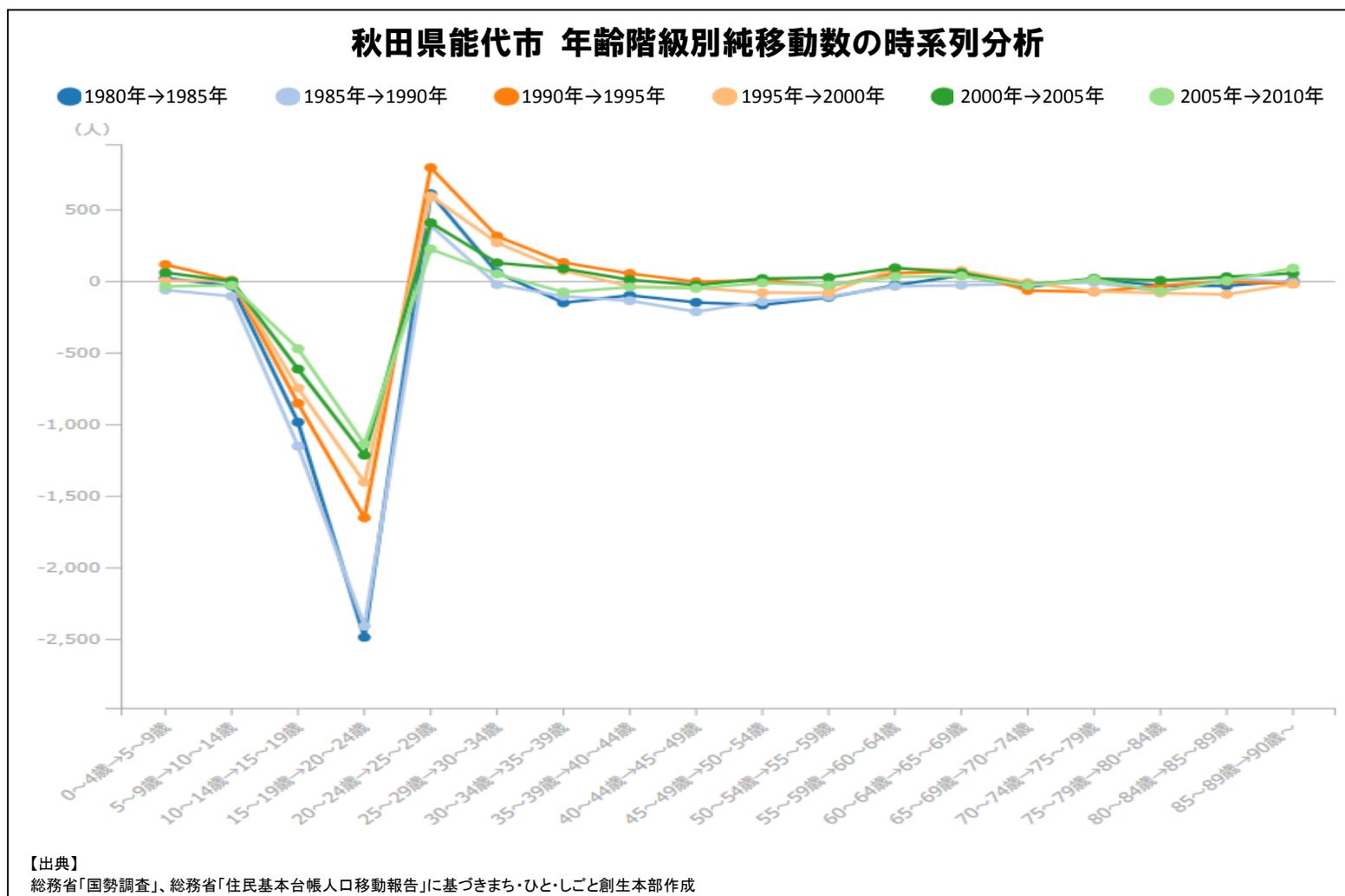
【出典】
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

2010年と2040年の推計を比較すると、65歳以上の年齢層が32%から46%と大幅に増加し、他の年齢層を上回る状況になると見込まれています。

(資料3)



2010年以降の年齢階級別の転入者から転出者を差し引いた数を示したものです。
2011年は東日本大震災があった年であり例外ですが、毎年転出による減が多くなっていることがわかります。



10代後半から20代前半にかけてどの年も大きく減少しています。これにより、高校卒業により進学、就職に伴い市を離れていることがわかります。20代後半にかけて戻ってきている人もいるものの、その増え幅は小さいものとなっています。また、近年は30代後半にかけて転出者が増える傾向がみられます。